

Press Release



2016年11月2日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは10月25日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

業績見通しを再度わざかに上方修正：

コベストロ、第3四半期も好調な業績を継続

- 主要製品の販売量は前年同期比で9.1%増
- 特別項目計上前EBITDAは前年同期比21.9%増の5億7千4百万ユーロ
- 純利益は61.9%増の2億5千9百万ユーロ
- フリー・オペレーティング・キャッシュフローは2倍以上に
- 2016年度通年の見通しを再度わざかに上方修正

ドイツ・レバクーゼン、2016年10月25日—

素材メーカーのコベストロは2016年度の第3四半期も上半期の成功を継続し、フリー・オペレーティング・キャッシュフローおよび収益が好調でした。特別項目計上前EBITDAは、主として販売量の増加と利益率の向上が相まって、前年同期比21.9%増の5億7千4百万ユーロとなりました。グループの主要製品の販売量（単位：キロトン）は前年同期比9.1%の増加となりました。

「第3四半期も上半期の好調な動向を継続し、当社の製品に対する力強い需要から利益を上げることができました。EBITDAとフリー・オペレーティング・キャッシュフローの増加が特に堅調で、

2016年度通年見通しを再度わずかに上方修正しました」とコベストロCEOのパトリック・トマスは述べています。

コベストロは引き続き、主要製品の販売量は通年で一桁台半ばから後半の伸びを予測しています。現在、フリー・オペレーティング・キャッシュフローについては、前年度レベルを上回り（従来予測：前年度レベル）、使用資本利益率（ROCE）については、前年度を大幅に上回ると予測しています（従来予測：前年度を上回る）。

安定した売上高、フリー・オペレーティング・キャッシュフローは2倍以上に

グループの第3四半期の売上高は、前年同期レベルの30億ユーロになりました。第1、第2四半期で売上高が低下した後、今期は主として合計販売量が6.3%増加したため増収となりました。特に、ポリウレタン事業部とポリカーボネート事業部は大幅な販売量増加となっています。同時に、この2つの事業部は原料価格の低下によって販売価格が再び低下し、売上高を押し下げることになりました。為替も、わずかにマイナス影響を与えました。

第3四半期の純利益は2億5千9百万ユーロで、上半期の動向を裏付け、前年同期比で61.9%の大幅な増加となりました。フリー・オペレーティング・キャッシュフローは特に好調で、前年同期比で157.4%増加し、6億4千6百万ユーロになりました。この増加は主として営業活動のキャッシュフローの改善および固定資産への投資活動によるキャッシュ・アウトフローの減少によるものです。

全ての事業部で伸びーポリウレタン事業部のEBITDAは大幅に増加

ポリウレタン事業部の主要製品の販売量は、第3四半期でも前年同期比で9.0%増加しました。すべての製品グループ、特にジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）がこの増加に貢献しました。販売量と利益率の伸びにより特別項目計上前EBITDAは50.3%増加し、2億6千3百万ユーロになりました。

ポリカーボネート事業部でも、前年同期比で主要製品の販売量が11.6%の力強い伸びを記録しました。特にアジアパシフィック地域で販売量が大幅に増加しました。同事業部の特別項目計上前EBITDAは販売量の増加により13.5%増の1億9千4百万ユーロになりました。

塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業部の主要製品の販売量は前年同期比で3.5%増加しました。この伸びは、想定内の取引の契約終了による影響があったにも関わらず達成することができま

した。特別項目計上前 EBITDA は 1 億 3 千 6 百万ユーロで、実質上、第 3 四半期は前年同期と変わらないまででした。販売価格の低下は販売量の増加によって相殺され、原料価格の低下はプラス効果をもたらしました。

好調な 9 カ月 – 販売量と収益の改善

全体的に 2016 年 1 月から 9 月までの 9 カ月間は非常に好調な業績を達成しました。主要製品の販売量は前年同期比で 8.4% 増加しました。これは、主として 9.6% と 9.4% という力強い成長率をそれぞれ記録したポリカーボネート事業部とポリウレタン事業部での販売量の増加によるものです。

特別項目計上前 EBITDA は 17.3% 増加し、16 億ユーロになりました。最初の 9 カ月間の売上高は、主として全体的な販売価格が 8.1% 低下したことによって 4.3% 減少し、89 億ユーロになりました。平均販売価格は、特にポリウレタン事業部で前年同期比で低下しました。為替レートの動向もわずかにマイナス影響を与えました。

コベストログループの純利益は 6 億 7 千 1 百万ユーロで、前年同期比で 57.1% と大幅に増加しました。フリー・オペレーティング・キャッシュフローも改善され、グループレベルで 68.1% 増加し、9 億 6 千万ユーロになりました。

コベストロ社について

コベストロ社は 2015 年度売上高が 121 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気／電子、建築、スポーツ・レジャーの各産業です。コベストロ社（旧バイエルマテリアルサイエンス社）は、世界中の 30 基点に生産施設があり、社員数は 2015 年末で約 15,800 人です。詳しくはこちらをご覧ください。 covestro.jp

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 クロスプレイス浜松町 7F

広報部 梅澤 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540

コベストログループの主要データ

	2015年 第3四半期	2016年 第3四半期	前年比	2015年 1~9月	2016年 1~9月	前年比
	(百万ユーロ)	(百万ユーロ)	%	(百万ユーロ)	(百万ユーロ)	%
主要製品販売量	-0.6%	+9.1%		+2.5%	+8.4%	
売上高	3,020	3,022	+0.1	9,284	8,887	-4.3
EBITDA ^{※1}	455	574	+26.2	1,287	1,624	+26.2
特別項目計上前EBITDA ^{※2}	471	574	+21.9	1,385	1,624	+17.3
EBIT ^{※3}	287	406	+41.5	760	1,110	+46.1
特別項目計上前EBIT ^{※4}	305	406	+33.1	883	1,110	+25.7

※1 金利・税金・償却前利益

※2 特別項目計上前の金利・税金・償却前利益

※3 金利・税引前利益

※4 特別項目計上前の金利・税引前利益

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト (www.covestro.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。